

【令和7年7月知事定例記者会見】 7月15日

井上萬二先生逝去の報に接し、心から哀悼の意を表す。佐賀県にとって世界に誇れる人だった。心より冥福をお祈りいたします。

● 佐賀県の危機管理～救える命を救いたい～

この10年、様々な危機事象に対応してきました

災害対応は、報道とともに取り組むものだと考えている。改めて危機管理の姿勢を説明したい。

私の初登庁は、平成27年1月14日。その直後に初めての鳥インフルエンザが発生。当時、私の両側に副知事、部長が並ぶ部長会議のような災害対策本部だった。

現場の状況がわからず、行きたいと言っても、現場は所長が対応するからと止められた。しかし、現場に行ったことも見たこともない人間ばかりで議論するのはおかしい。再三提案し、行くことになった。実際、現場を知っている人間は強い。県庁に戻ってからの状況判断や指示が的確にできた。

現在は、副知事や部長が現場に行き、差配する。当時の副島副知事、坂本副知事、南里副知事、落合副知事が、現場で調整してくれた。そうすると、現場での対応がワンストップででき、困った場合は直接連絡が入る。

災害対応では、平時と違いトップダウン体制も必要になる。有事の際は、緊急に予備費を使うなど、早急な対応を求められる。

コロナや様々な災害に対応し、習熟を繰り返してきた10年だった。

唯一無二、佐賀県オリジナルの危機管理システム

災害時は、基本的に計画通りに進まない。計画として1つのフォーマットを作成し、どう修正しながら対応するか、それがまさにオペレーション。

現在の災害対策本部は、気象庁、自衛隊、警察、消防などが出席。特に、最初の3日間は災害即対応型の命を救うメンバーとともに、現場とやり取りしつつ対応する。報道、NPO、CSOも一緒に中に入ってもらい、検討を見守ってもらう。

まず、初動重視。初動でどれだけ命を救いだせるか、これが役所の一番大きな仕事だと思う。

さらに、現場重視。現場に責任者が行き、指揮を執ることが大事だと考えている。

救える命を救いたい、初動で人を助ける

初動で人を助ける役割は、自衛隊、消防、警察、海保。そのベースに気象台との連携がある。普段から連絡会議を開き、顔が見える関係を保つ。合同訓練や実動機関も参加

した災害対策本部が大事だと考える。

様々な分野のCSOがきめ細やかな強みを最大限に発揮

ここに掲げているCSOは、佐賀県以外に拠点を持っていた団体。誘致に応じてくれた。災害対応では、行政の手が届かない部分を最初の段階からやってくれる。

行政は、まず人命救助が優先。その間、NPOが住民のニーズを聞き、対応してくれる。人の命を救う大きな動きと、きめ細かい動きを同時並行的に取り組めることが佐賀県の強み。

佐賀県防災ヘリ「かちどき」の実践的運用

防災ヘリは、令和3年に運用開始。他県に比べ遅い導入だったが、隊員は士気も高く、最新の技術を有している。

大分県、長崎県からの要請を受け、救出作業や山林火災にも活躍中。

「かちどき」には、「いちごさん」マークが入っている。車体番号は「JA153L」。「JA」はJAPAN、「153」は「いちごさん」、レイディ。

支援県 佐賀 これまでも、これからも

佐賀県は支援県として位置づけられている。南海トラフ地震の想定では、被災の可能性が低い県として、大分県の支援を担当する。宮崎県を担当する長崎県は、最近の発表で被害想定が大きかったため、今後は調整が必要。

また、支援計画では熊本県が中心となり、全体を回す想定だが、熊本県が被災する可能性もある。熊本地震では、佐賀県が中心となり、佐賀空港や鳥栖を輸送拠点として支援が行われた。他県を支援する体制をさらに整え、支援の充実を図る。もちろん、佐賀が被災した際にもそれを転用できる。支援の習熟度を高めたい。

● さが本恋プロジェクト始動

絵は、鳥栖高校出身の wataboku (わたぼく) さん。SNSでの発信を通じ、全世界で人気のイラストレーター。

若い人には有名で、CM、本の装丁、イラストなど、多方面で活躍中。

最近“本”読んでますか？

県では2015年以降、全ての新刊児童書を購入している。本の振り分けは、司書の皆さんが担当。データを見ると、小学生時代はよく本を読んでいるが、中学・高校になると読書の時間が激減する。中高生にもっと本に親しんでもらいたいというプロジェクト。

本と人に出会う“ビブリオバトル講習会・予選会”開催

ビブリオバトルとは、トークショー形式で各々がお勧めの本を紹介するゲーム。お勧め本のプレゼン後、1冊ごとに意見交換し、最後は投票してチャンピオンを決める。

体験のための講習会を唐津、佐賀、嬉野で開催予定。特別ゲストは、小説紹介クリエイターのけんごさんとビブリオバトル普及委員会の佐藤慧さん。けんごさんは、自分が読んで本当に人に勧めたい本をSNSで紹介し、若い世代の支持を得ている。

ビブリオバトルの予選会を、中学生の部と高校生の部に分け、10月11日、12日に開催する。

この秋、キミが本に恋するイベント開催

11月9日「さが“本恋”フェス！」をアバンセとどん×3の森で初開催。

- ・ビブリオバトル決勝戦：優勝者は全国大会へ出場。
- ・Special トークライブ：佐賀之書店のオーナーであり直木賞作家の今村翔吾さん、けんごさんとのトークライブ。
- ・ブックマルシェ 本×食×遊：様々な本に親しみ、食べたり、遊んだりする。

●九州佐賀国際空港から 台北・ソウル・上海を楽しむ旅へ

佐賀と上海、ソウル、台北間の往来がますます便利に

九州佐賀国際空港は、国際線利用が順調に回復。上海便は7月から4便、台北便は4月から3便に増便された。また、佐賀ーソウル便の発着の利便性が向上。コロナ前の利用状況にほぼ戻り、さらに利用率の上昇が見込める。しかし、インバウンドが圧倒的に多く、県民の渡航はわずか。

県内のパスポート保有率は11.1%で、九州で4番目。今日は、国内より近くて行きやすい外国があることをお知らせする。また、上海便・台北便でパスポート取得キャンペーンを実施中。パスポート取得に関する費用支援もある。詳しくはお問い合わせを。

上海1泊2日・ショートトリップ

海外旅行を気軽に簡単にというプロモーション。1泊2日、2万3,000円からの旅。カフェ巡り、上海料理、空港での朝食。福岡空港の上海便を使ったり、2泊にしたりとアレンジもできる。

実は、LCCは荷物にお金がかかる。バックパック1つの旅がお勧め。

ソウル1泊2日・ショートトリップ

ソウルで最近の人気スポット益善洞（イクソンドン）を回り、エステに行き、プルコギを食べ、空港で朝ご飯を食べて帰るプラン。佐賀の地の利を生かし、ショートトリッ

プを楽しんでもらいたい。

台北1泊2日・ショートトリップ

台北で台湾スイーツなどを夜市で楽しみ、足裏マッサージに行き、空港で朝ご飯を食べて帰るプラン。

急な休みが取れたときの、自分へのご褒美としてもお勧めしたい。

佐賀ー上海間は、佐賀から東京へ行くより近い。この利点を生かし、LCCを使って気軽に海外を訪れてほしい。

● フェムケア SAGA 誰もが働きやすい職場へ

生理休暇など女性特有の問題を共有し、女性が働きやすい職場環境を考える取組。

取組拡大のため、「新しい職場づくりフェスタ」を県内2か所で開催予定。また、モニター企業も募集している。男女ともに働きやすい職場づくりのため、企業からの参加をお待ちしています。